

船舶事故等調査報告書

平成22年8月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第80号	
事故等種類	衝突（消波ブロック）	
発生日時	平成21年12月25日 01時30分ごろ	
発生場所	兵庫県新温泉町諸寄港 諸寄港日和山灯台から真方位018°360m付近 (概位 北緯35°37.6′ 東経134°25.8′)	
事故等調査の経過	平成22年5月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 ^{かいおう}海王丸、54トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 119747、有限会社熊本水産</p>	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船首右舷外板に破口	
事故等の経過	本船は、船長ほか7人が乗り組み、船首約0.9m、船尾約3.0mの喫水をもって、南南東の針路及び約8.5ノットの対地速力で諸寄港沖を航行中、船長が居眠りに陥り、平成21年12月25日01時30分ごろ、諸寄港の消波ブロックに船首右舷外板が衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風 なし</p> <p>海象：波 なし、潮汐 ほぼ低潮時</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、諸寄港沖を航行中、船橋当直中の船長が居眠りに陥ったため、消波ブロックに衝突したものと考えられる。</p> <p>船長は、2昼夜続けたの操業の疲れから、居眠りに陥った可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、夜間、本船が諸寄港沖を航行中、船橋当直中の船長が居眠りに陥ったため、消波ブロックに向かって航行し、消波ブロックに衝突したことにより発生したものと考えられる。	
備考	船長は、本事故後、再発防止策として、船橋当直を2人にすることとした。	